

# 社会科学習指導案

実施学級 第 3 学年 2 組 3 9 名  
実施日時 令和 7 年 11 月 18 日 5 時限  
実施場所 3-2 教室  
指導者 横川 和成

## 1 単元名

国の政治の仕組み

## 2 単元目標

- ・国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらまし、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。
- ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。
- ・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。

## 3 評価の観点

観点	評価観点別目標
知識・技能	国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。
思考・判断・表現	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

## 4 単元全体の指導計画（全6時間）

第一次	①/6	授業名	国会の地位と仕組み・法律の制定
		ねらい	国会の地位と主な仕事について理解し、「衆議院の優越」が定められている理由について説明することができる。
		「深い学び」への指導ポイント	2008年のガソリン価格の上下について、当時の国会の議席数に着目し、「衆議院の優越」によって再可決されたことから説明させる。
第二次	②/6	授業名	国会の仕事・行政の監視
		ねらい	国会と行政との関係について理解する。
		「深い学び」への指導ポイント	衆議院の優越に対して、「参議院の存在意義」を衆議院との比較と、議院内閣制から説明できるように支援する。

第三次	③/6	授業名	行政の仕組みと内閣
		ねらい	日本の内閣の役割と仕組みについて理解する。
		「深い学び」への指導ポイント	米国の大統領との比較を通して、日本は首相公選制を導入すべきかを考えさせる。
第四次	④/6	授業名	行政の役割と行政改革
		ねらい	行政における内閣の役割について理解し、規制緩和のあり方について考えることができる。
		「深い学び」への指導ポイント	政府がもつ役割の拡大・縮小の具体例として、「日本版ライドシェア」の是非について、対立構造を整理させる。
第五次	⑤/6	授業名	裁判所の仕組みと働き
		ねらい	司法権の独立の原則が必要な理由について、裁判の仕組みと違憲審査権に基づいて説明できる。
		「深い学び」への指導ポイント	道徳で行った実践「三匹のこぶた裁判」の事例を基に、登場人物を現在の裁判制度にあてはめて整理させる。
第六次	⑥/6	授業名	裁判と人権・裁判員制度
		ねらい	裁判員制度に関わる立場で、日本の刑罰のあり方に考えを述べることができる。
		「深い学び」への指導ポイント	死刑制度の是非について、スライドで整理させることで、多様な立場で考えられるようにする。

## 5 本時（第6次）

### (1) 本時の指導目標

観点	目標	手立て
知識及び技能	裁判がより身近で公正なものになるための裁判員制度について、その制度の仕組みと懸念を理解できる。	裁判員に参加したいかを生徒に尋ね、不安や心配なことを話す場面を設ける。裁判員制度に参加した人のアンケートや声を紹介し、国民の声が裁判に反映されることの意義を考えさせる。
思考力、判断力、表現力等	日本の量刑に関して、人権保障や被害者の気持ちへの配慮を考慮し、公正なあり方を考え、自らの意見を述べるができる。	死刑制度に関わる対立構造をスライドに整理し、自らの意見を根拠に基づいて述べられるようにする。

### (2) 教材

プロジェクター 提示用 PC タブレット端末 資料集（浜島書店）

### (3) 学習指導場面の工夫

学習形態	場面・工夫
一斉指導	Teams に投稿された内容を教師が集約し、生成 AI を用いて立場を整理することで、対立構造や全体の意見の動向を生徒がつかみやすくする。

個別最適な学び	Power point のスライド（またはプリント）に、簡易的なバタフライチャートを用いることで、対立する構造をとらえやすくする。
協働的な学び	スライドをもとに、意見交換の論点を整理することで、他者との価値観の違いに気づくことができるようにする。

#### (4) 補足資料

##### 公民授業「死刑制度」

###### ☆本日の活動

- (1) 資料集p.82-83を参考に、死刑制度の賛成意見と反対意見をシートにまとめましょう。
- (2) みんなから出された論点について、意見を交換しましょう。
- (3) teamsに・必要・必要でない（スペース）理由を書いて、自分の意見をクラスで共有しましょう。

☆本日の活動  
 (1) 資料集p.82-83を参考に、死刑制度の賛成意見と反対意見をシートにまとめましょう。  
 (2) みんなから出された論点について、意見を交換しましょう。  
 (3) teamsに・必要・必要でない（スペース）理由を書いて、自分の意見をクラスで共有しましょう。

📎 3-1共有パワポ『死... 📎 ...



📎 日弁連死刑制度... 📎 ...



📎 パンフ\_死刑問題... 📎 ...



#### (5) 学習の展開

資質・能力が育成され「深い学び」が実現している生徒の姿（学習活動の場面）				
死刑制度に関して、人権や被害者感情、司法に関わる当事者の視点をもって、自己の意見を述べることができる。				
	学習者の活動	「深い学び」につながる学習形態における支援	学習形態	GIGA 端末・クラウド環境の活用
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書（p.106-107.）を音読をして、穴埋めをする。</li> <li>本時の課題を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁判員制度について既習事項を確認し、裁判員の関わる事例や選ばれる確率をおさえる。</li> <li>2025年の刑法改正についての確認をしたうえで、裁判員が量刑判断にかかわることをおさえる。</li> </ul>	一斉	teams 【流れの提示】
死刑制度は必要か？				
展開 35	<ul style="list-style-type: none"> <li>死刑制度の賛否に関して、双方の意見を簡易バタフライチャートにまとめる。個人で始めたの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スライドを用いて、対立構造を整理させる。より重要な理由だと考えるものを上</li> </ul>	個別	powerpoint 【構造化】

分	<p>ち、班での相談をできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教室内の論点整理を聞き、グループごとに意見交換をする。</li> <li>・ teams に死刑制度は必要か？必要ではないか？」に対する個人の立場を投稿する。</li> </ul>	<p>部に位置付けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒のスライドをもとに、以下の点を論点として提示する。</li> <li>☆罰が重いのは死刑？無期拘禁？</li> <li>☆自分が被害者家族だったら？</li> <li>☆裁判では間違いは起こらない？</li> <li>☆国家が人命を奪うことは、正義になるか？</li> <li>・ 必要・必要でない □ (スペース) 理由を書くように指示し、理由付けを確認できるようにする。</li> </ul>	Teams 【意見表明】
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生成 AI によるクラスの集計結果を確認し、双方の立場を確認する。</li> <li>・ 次回の予告を聞き、ポートフォリオを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AI の分析結果を teams に投稿し、人数とクラスのメンバーが重要視した価値を確認する。</li> <li>・ 量刑は国民が選挙で選んだ国会が制定する法律によって左右され、司法は国民審査によって国民に監視されていることを補足する。</li> </ul>	Copilot 【集約・分析】 Teams 【共有】  Excel 【振り返り】